

米国国務省が開催した FIRST STUDY TOUR (Japan FIRST) を支援

米国国務省は、クリーンで信頼性の高いエネルギー源の達成のため Foundational Infrastructure for Responsible Use of Small Modular Reactor Technology (FIRST) プログラムを進めている。このため、2024年6月に原子力の国民理解活動についての人材育成促進のため、SMR 導入に関心のある国の原子力関係者を日本に招聘して原子力関係施設視察、講義等を提供した。JICC は、計画の作成、視察先との調整等を担当した。福井県若狭湾エネルギー研究センター、福井県、関西電力の原子力研修センター、ELGAIA 及び大飯発電所、原子力の科学館「あっとほうむ」、茨城原子力協議会「原子科学館」、原子力機構、日立 GE 臨海工場、原子力発電環境整備機構及び経産省の皆様にも多大なご協力いただいた。



関電大飯発電所原子力研修センターにて運転訓練シミュレータ体験



科学館「あっとホーム」、ムービークイズ体験



閉講式集合写真

成果： 各国視察参加者、米国国務省等からの参加者から、日本の原子力発電に関して貴重な体験でき、高く評価するとのことであった。本件を通して日米間の国際的相互協力に貢献できたものとする。